

資料提供

月 日	発 表 者	電話番号	担当者
		2023年12月21日(木)	06-6223-7744
午後2時	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局文化課 (京都府文化生活部文化政策室)	075-414-4239	里参事 村林事務官

歴史文化遺産フォーラム

文化観光から見た民俗芸能 ～地域の誇りを次代へとつないでいくために～

関西は、歴史に裏打ちされた数多くの有形・無形の文化遺産の集積地であり、こうした関西の歴史文化遺産について様々な観点から考え、発信するフォーラムを、歴史街道推進協議会、関西広域連合が連携して開催しています。

今回は、400年の歴史を持ち、全国から多くの人が集う「阿波踊り」で有名な徳島から、それぞれの地域で育まれてきた「民俗芸能」にスポットをあて、実際に民俗芸能に携わっている方も交え、「そもそも民俗芸能とは」「地域活性化、文化観光と民俗芸能」「民俗芸能がもつ可能性」など多様な視点から、その価値と課題、そして次代への継承について考えるフォーラムを下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

1. 日 時

2024年2月12日(月・祝) 12時30分～16時00分(開場:12時00分)

2. 場 所

徳島市シビックセンター 4F さくらホール (〒770-0834 徳島県徳島市元町1丁目24)

3. 内 容

(1) 講演:『日本の民俗芸能 ～文化観光としての可能性～』

かわもり ひろし
川森 博司 氏 (神戸女子大学文学部教授)

(2) 講演:『地域の誇り・民俗芸能を次代へとつないでいくために』

おおはら まなぶ
大原 学 氏 (一般社団法人マツリズム代表理事)

(3) デモンストレーション:『阿波人形浄瑠璃』

さとう けんじ
佐藤 憲治 氏

(徳島県立阿波十郎兵衛屋敷館長、NPO法人阿波農村舞台の会理事兼事務局長)

(4) ディスカッション:『文化観光から見た民俗芸能』

パネリスト いけだ じゅんこ
池田 順子 氏 (徳島県阿波踊り協会副会長、新のんき連連長)

おおはら まなぶ
大原 学 氏

たむら たくみ
田村 卓巳 氏 (福知山踊振興会会長)
かわもり ひろし
川森 博司 氏 ※コーディネーター

4. 主 催

関西広域連合、歴史街道推進協議会

【後援】 徳島県 徳島市 (公社) 関西経済連合会 (一財) 関西観光本部
近畿日本鉄道(株) 京阪ホールディングス(株) 南海電気鉄道(株)
西日本旅客鉄道(株) 阪急電鉄(株) 阪神電気鉄道(株)

5. 定 員

200名 (事前申込制・先着順、2月5日必着)

6. 入 場 料

無 料

7. 申込方法等

ハガキ、FAX、Eメール、協議会HP (<https://www.rekishikaido.gr.jp/>) から ①郵便番号
②住所 ③氏名 (同伴者は2名様まで) ④電話番号 を明記のうえ、下記の申込先までお申込みください。

申込み 〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル7階
歴史街道推進協議会「歴史文化遺産フォーラム」係
FAX : 06-6223-7234 E-mail : bunka-f@rekishikaido.gr.jp

問い合わせ TEL : 06-6223-7745 (平日 10~17時)

8. 会場への交通案内

高速バスで、京都から約3時間、
大阪から約2時間20分、神戸から約2時間で
『徳島駅前』下車、徒歩約5分
JR『徳島駅』から徒歩約5分

徳島駅からシビックセンターへの行き方(階段を上るルート)



文化観光から見た民俗芸能

～地域の誇りを次代へとつないでいくために～

日時：2024年2月12日(月・祝)
12:30～16:00(開場12:00予定)

会場：徳島市シビックセンター
4F さくらホール
(徳島県徳島市元町1丁目24)

募集：200名(先着順、2月5日必着)
※手話通訳あり

入場料：無料

1970年
大阪万博



阿波踊り



1960年頃の
踊り場

福知山踊り



情報誌ラサンカ提供

■ 講演

『日本の民俗芸能 ～文化観光としての可能性～』

川森 博司 氏[神戸女子大学文学部教授]

『地域の誇り・民俗芸能を次代へとつないでいくために』

大原 学 氏[一般社団法人マツリズム代表理事]

■ デモンストレーション

『阿波人形浄瑠璃』

佐藤 憲治 氏

[徳島県立阿波十郎兵衛屋敷館長]



■ ディスカッション

『文化観光から見た民俗芸能』

池田 順子 氏[徳島県阿波踊り協会副会長/新のんき連連長]

大原 学 氏

田村 卓巳 氏[福知山踊振興会会長]

川森 博司 氏 ※コーディネーター

今回のフォーラムでは、400年の歴史を持ち、全国から多くの人が集う「阿波踊り」で有名な徳島から、それぞれの地域で育まれてきた「民俗芸能」にスポットをあて、実際に民俗芸能に携わっている方も交え、「そもそも民俗芸能とは」「地域活性化、文化観光と民俗芸能」「民俗芸能がもつ可能性」など多様な視点から、その価値と課題、そして次代への継承について考えます。

出演者略歴



川森 博司 氏 神戸女子大学文学部教授

1957年神戸生まれ。大阪大学文学部卒業、大阪大学大学院文学研究科博士後期課程中退、博士(文学)。日本民俗学会、日本文化人類学会、日本口承文芸学会、アメリカ民俗学会などに所属。著書として『日本昔話の構造と語り手』(大阪大学出版会、2000年)、『ツレが「ひと」ではなかった 異類婚姻譚案内』(淡交社、2023年)、『日本の民俗3 物と人の交流』(共著、吉川弘文館、2008年)、代表的論文として「現代日本における観光と地域社会」などがある。



大原 学 氏 一般社団法人マツリズム代表理事

1983年神奈川県南足柄市生まれ。早稲田大学在学中に祭りに出会い、人生を捧げることを決意する。卒業後は日本GE株式会社、NPO法人クロスフィールズに勤務し、2016年にマツリズムを法人化。若者向けの祭り参加型企画を展開し、これまで全国16地域で500名以上が参画した。近年は、祭の持続可能性をテーマに地方での講演・ワークショップなど活動の幅を広げ、自治体や省庁・財団とも協働事業を行う。NHK等のメディアでも多数取り上げられ、祭の可能性を伝え続けている。



佐藤 憲治 氏 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷館長 / NPO法人阿波農村舞台の会理事兼事務局長

1961年徳島県生まれ。1985年上智大学外国語学部を卒業し徳島県庁に入庁。長年にわたり文化行政を担当。2003年にはNPO法人阿波農村舞台の会の設立に携わり、県内に多数残る農村舞台の活用を図るなど、公私ともに文化振興に取り組んできた。2014年に早期退職後、阿波人形浄瑠璃の拠点施設「徳島県立阿波十郎兵衛屋敷」を運営しながら徳島の文化・観光振興に取り組んでいる。



池田 順子 氏 徳島県阿波踊り協会副会長 / 新のんき連連長

2006年より「新のんき連」の2代目連長を務め、連を統率するかたわら現在も踊り手として活躍。県内54連が所属する「徳島県阿波踊り協会」の副会長として中心的な役割を担い、後継者育成にも力を注ぐ。新のんき連や県協会合同連として、お盆に行われる徳島市の「阿波おどり」のほか、徳島中央公園で春に開かれる「徳島城阿波おどり」、アスティとくしまでの「秋の阿波おどり」など四季を通じて踊りの魅力を発信。全国・海外への遠征にも参加し、徳島の郷土芸能の継承・普及に尽力している。



田村 卓巳 氏 福知山踊振興会会長

1953年、京都府福知山市生まれ。市内で呉服店を経営。1980年創立の福知山踊振興会会長を務め、次世代の育成などを目的に普及活動を行っている。また、福知山市市民憲章推進協議会会長として、「共に幸せを生きる」ふるさと福知山の実現のため、様々な活動を通して市民憲章の普及・啓発・推進を進める。官民連携組織・福知山光秀プロジェクト推進協議会実行委員長。2023年度京都府伝統行催事功労者表彰受賞。

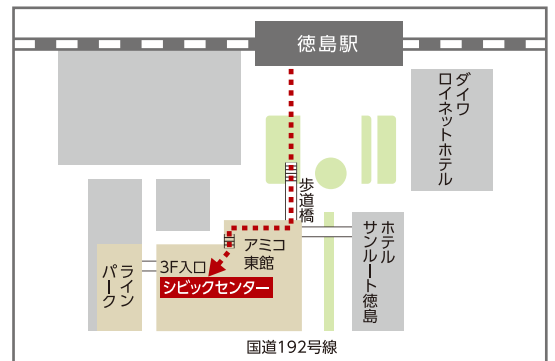
応募方法 ハガキ・FAX・Eメール・協議会HPから
下記の事項を明記してお申込みください。
後日、参加証をお送りします。

応募先 〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7F
歴史街道推進協議会「歴史文化遺産フォーラム」係
FAX 06-6223-7234 Eメール bunka-f@rekishikaido.gr.jp

問合せ TEL 06-6223-7745 (平日10~17時)



徳島駅からシビックセンターへの行き方(階段を上るルート)



歴史文化遺産フォーラム(令和6.2.12)申込書

FAX: 06-6223-7234

■参加代表者の氏名 ()

■電話番号 ()

■住所 〒 ()

■歴史街道倶楽部会員番号 ()

■同伴の参加者氏名 ()

(申込書1枚につき2名様まで)

※歴史街道倶楽部の方は()に
会員番号をご記入ください ()

■歴史街道倶楽部入会案内資料 部 希望 (希望される方のみ部数をご記入ください)

●個人情報の取り扱いについて：申込者から取得した個人情報は、歴史街道推進協議会で実施する業務に必要な範囲内で利用いたします。